

NEWS

藤前干潟ラムサール条約登録20周年

環境デーなごや2022

～つなげよう！命の輝き いきものつながり～

- ・日 時：令和4年9月17日（土）午前10時
- ・場 所：中央行事久屋大通公園（名古屋市中区）

今年度の「環境デーなごや2022」のテーマは、「藤前干潟ラムサール条約登録20周年 ～つなげよう！命の輝き いきものつながり～」です。

埋立処分場計画を断念し守られた藤前干潟は、重要な渡り鳥の飛来地として、2002年にラムサール条約の登録湿地になりました。登録20周年を契機に生物多様性についてあらためて考え、持続可能な未来に向けて一人ひとりが取り組むきっかけとなるようにと考えられたものです。

“環境デーなごや”への出展は2019年以降、3年ぶりとなり、以前はエンゼル広場での出展が続きましたが、今年はエディオン久屋広場での出展となりました。ブースでの作業・作品づくりの際のお願いとして、マスクの着用、入・退場時の手指消毒、人との距離を取り、愛産協スタッフへ用事がある時

は合図をして下さい、とのメモを作業台に貼るなどの配慮をして、参加者の皆様に楽しんでいただく準備をしました。

開場の時間と共に来場者が訪れ、押し花づくりやペーパークラフトで昆虫を作成していました。作品づくりのお手伝いは、環境イベント等に長く携わってこられた浦田恵美子氏を始めとした、いつもの方々が担当され、多数の来場者の方が10分以内（感染防止の配慮から）で完成できるようサポートしました。他には、「AELネット」の環境学習スタンプ帳の押印、「SDGs巡って学ぼうシールラリー」のシール貼りなど、環境に関心を持つきっかけとなるよう、押印時やシールを貼る際、SDGsについて話しをしました。また、ブース壁面には「54市町村との災害時における廃棄物の処理等に関する協定」、「災害廃棄物仮置場設置・運営訓練」など最新の写真パネルを多数掲示し、愛産協の取組を多くの方に知っていただく良い機会となりました。



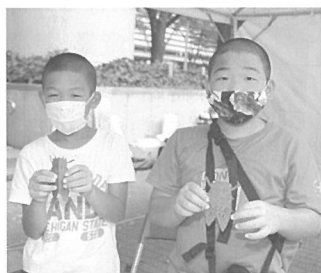
愛産協ブース内



アドバイスを受けながら作品を作成



令和4年度名古屋SDGsグリーンパートナーズ優秀表彰式の加山興業（株）加山順一郎氏



愛産協ブースで作成した作品をご披露していただきました参加者の皆様

SDGsのシールを職員に貼ってもらう